

施策評価シート(令和4年度実施施策)

総合計画 体系	政策No.	2	政策名	安心で安全な暮らしづくり	施策主管課	総務課
	施策No.	2-2	施策名	交通安全・防犯体制の充実	施策主管 課長名	金子 吉弘
関係課	総務課 町民税務課					

1. 施策の目的

対 象	A 町域	意 図	A 事故や犯罪を防止する環境になっている
	B 地域		B 地域ぐるみの防犯体制が整っている
	C 町民		C 事故や犯罪に遭わない・起こさない意識が浸透している

2. 成果指標

指標名		単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①	A 交通事故（人身事故）の発生件数（減少） （現状値：H28-30平均）	件	21	20	19	18	17	16
				11	9			
②	B・C 防犯に気を使った生活をしている町民の 割合（増加）（現状値：H28-30平均）	%	84.1	85.6	85.8	86	86.1	86.3
				78.6	82.2			
③								
④								

3. 指標の分析（成果が向上した、またはしなかった理由）

①	各期の交通安全運動を通じ、警察署や交通安全団体と交通安全の取り組みを行うとともに、反射材の着用を積極的に啓発したことにより、目標を達成することができた。
②	目標値に達することはできなかったが、令和3年度と比較すると3.6ポイント増加した。地域安全運動や防犯協会の活動を通じ、警察署をはじめ関係機関と協力しながら啓発活動を行っていることが理由と考えられる。
③	
④	

4. 課題に対する取組（今年度重点的に取り組んだ課題）

<ul style="list-style-type: none"> ・交通関係機関や交通教育専門員とともに街頭指導や反射材の着用の啓発活動などを行った。 ・警察署や防犯協会等関係機関と連携し、防犯診断やチラシの配布などの啓発活動を実施した。また、犯罪が起これにくい地域とするため、自治区が管理する防犯灯電気料の補助及びLED化の支援を実施した。 ・消費生活相談員2名を配置し、消費契約トラブルに関する91件の相談に対応し、必要な情報やアドバイスの提供や必要に応じ事業者との斡旋交渉を行った。

5. 次年度の方向性（施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題）

<p>交通関係機関と協力して交通安全啓発活動を進めるとともに、運転に自身のない方向けに運転免許自主返納支援事業を推進し、交通事故のない地域の実現に取り組む。また、20歳未満成人や高齢者を狙った詐欺やインターネットを活用した悪質な手口が巧妙化していることから、相談員のスキルアップを図るため、県消費者センター等関係機関の協力のもとOJT研修の機会を増やす。</p>

6. 施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和4年度決算額 (千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	4909	交通安全対策事業	6,917	現状維持	現状維持	⑤現状維持	○
2	16976	消費者教育・啓発活性化事業	118	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
3	17108	防犯対策事業	12,873	現状維持	現状維持	⑤現状維持	